

備前市施策評価シート

施策名 (小項目)	斎場の運営と墓地の整備	コード	作成者	役職	環境課
		05-09-39	大森賢二	氏名	大森賢二
			電話	0869-64-1821・1822	
			このシート作成に要した時間	2.0 時間	

この施策の アピール ポイント	火葬場の運営は、止めることができない施策であり、今後も継続して支障を起ささないように努める。墓地需要は、継続してあるため、市民ニーズを把握しつつ、適正管理に努める。
-----------------------	--

この施策の 平成27年度の 施政方針	火葬場の施設については、適正な維持管理に努めてまいります。市営墓地については、需要が多いことから、新たな墓地造成の検討を行ってまいります。
--------------------------	---

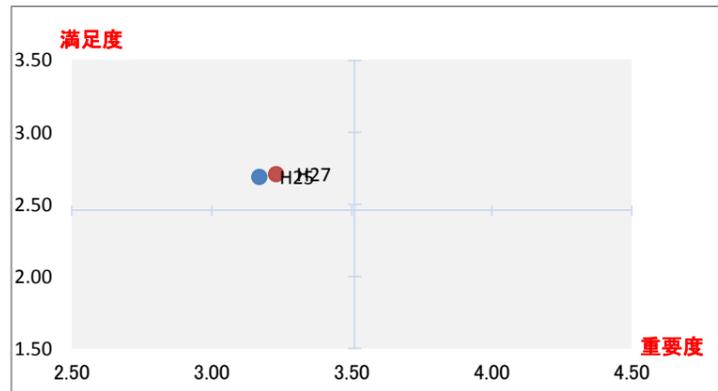
<備前市総合計画の内容から記載する>

① 政策の体系	基本構想 (大項目)	05 生活環境政策「快適・活力」
	基本計画 (中項目)	09 環境を大切に未来につなぐまち
② 対象と目的 (誰のために、何のために)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 参列者に清潔な環境を提供しながら火葬を執行する ・ 地域のニーズに応じた、市民が利用しやすい墓地を供給する ・ 衛生的な環境(公衆衛生)を保つ 	
③ 現況と課題 (総合計画から現在の問題点を抽出)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 斎場は備前地域と日生地域にあり、現在は、主にそれぞれの地域で使用されている。吉永地域については、和気北部衛生施設組合の施設を主に使用しているがそれらの統合が課題 ・ 墓地については、将来の需要を見極めながら整備を進めていくことが必要 	
④ 施策展開 (総合計画の施策部分から、実施する施策を抽出)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 斎場の適正な運営 ・ 施設整備 ・ 火葬執行体制の見直し ・ 墓地の管理 ・ 市有墓地の整備 	

⑤ 市民意識調査による施策の重要度・満足度

調査年度	H25	H27
重要度 (%)	3.17	3.23
満足度 (%)	2.69	2.71

《グラフにおける領域の説明》



調査結果に対するコメント、市民の反応等	備前・日生地域の墓地に空区画がないことから、引き続き墓地整備への要望がある。
調査対象でない施策は、市民の反応等	

⑥ 施策成果指標 (基本目標・基本施策・施策意図から設定)

施策に対する成果指標名	単位	過年度実績		評価年度	成果指標の計算式の説明 ベンチマークの説明	目標値	
		H25	H26	H27		H28	H29
成果指標 市有墓地の区画数	目標	区画	1,470	1,470.0	1,470.0	H28	1500
	実績	区画	1,470	1,470.0	1,470.0	H32	1564
	達成率	%	100.0	100.0	100.0	H34	1550
	ベンチマーク					-	-
参考指標 備前斎場火葬執行件数	目標	件	360	360	360	H28	360
	実績	件	394	379	416	H32	360
	達成率	%	109.4	105.3	115.6	H34	360
	ベンチマーク					-	-
参考指標 日生斎場火葬執行件数	目標	件	100.0	100.0	100.0	H28	100
	実績	件	101.0	74.0	106.0	H32	100
	達成率	%	101.0	74.0	106.0	H34	100
	ベンチマーク					-	-
参考指標 和気北斎場火葬執行件数	目標	件	50.0	50.0	50.0	H28	50
	実績	件	67.0	55.0	58.0	H32	50
	達成率	%	134.0	110.0	116.0	H34	50
	ベンチマーク					-	-
参考指標 ④	目標					H28	
	実績					H32	
	達成率	%				H34	
	ベンチマーク					-	-
参考指標 ⑤	目標					H28	
	実績					H32	
	達成率	%				H34	
	ベンチマーク					-	-

⑦ 目標達成に必要な新規事業 (裏面 施策構成事務事業以外の事業) 及び連携させる他部署の事業

実施主体	新規に必要な事業・連携が必要な事業	説明・期待される効果
民間	斎場運営事業の委託	葬儀は、民間事業者で行っているケースが多くなっており、斎場の運営についても委託への取り組みが必要と考える。

⑧ 施策の評価

項目	評価	5:非常に高い 4:高い 3:どちらともいえない 2:低い 1:非常に低い	
		判断理由 (なぜ、そのランクと評価したのか)	
1 <成果指標の妥当性> 施策の目的・成果を表現しているか?	3	市が主体となって、火葬場の維持管理や墓地需要を満たし公衆衛生を守っていく必要がある	
2 <事業構成の妥当性> 手段は最適か?	3	<ul style="list-style-type: none"> ・ 墓地については、市が主体となって墓地需要を満たし公衆衛生を守っていく必要がある ・ 火葬場については、市が主体となり、支障を起ささないよう、適正な維持管理が必要である。 	
3 <施策の有効性> 指標分析、評価年度・中長期の達成見込みは?	3	市民から墓地の整備を求める声は多く寄せられている。備前・日生地域の墓地区画は不足している。墓地整備の要望もあることから、墓地の造成は地域に協力を仰ぎながら計画的に推進する必要がある。中期的には目標達成は可能である。	
進行年度 (H28年度) の取組内容 (課題解決状況)		<ul style="list-style-type: none"> ・ 墓地については、墓地需要が多いことから、造成に向けた検討を行うこと (造成地の地元、特に周辺住民の同意をあらかじめ得ることが肝要) ・ 火葬場については、備前斎場の燃料のガス化や炉の大型化を進める。 	
翌年度 (H29年度) の取組目標		<ul style="list-style-type: none"> ・ 墓地については、墓地需要が多いことから、造成に向けた検討を行うこと (造成地の地元、特に周辺住民の同意をあらかじめ得ることが肝要) ・ 火葬場については、和気北部衛生施設組合の和気斎場の動向により、備前市内の施設の統合等の検討を始める。 	
二次評価者コメント		斎場について、和気北部衛生施設組合の和気斎場の動向を見ながら、備前斎場の炉の大型化、ガス化をすすめ、今後迎える高齢者数のピークと、それ以後の減少を考慮に入れながら、周辺環境の維持と火葬効率の適正化を図っていくよう検討を続けていく必要があります。また、墓地については、管理者が遠方であることから用地の返納もあるため、早期の募集による墓地供給も行っていくことが必要です。	基本施策への 貢献度 3 中立

備 前 市 事 務 事 業 評 価 シ ー ト

(平成27年度事業)

事業の概要					
事業開始年度	昭和46年度～				
総合計画	大項目 基本構想	05	生活環境政策「快適・活力」	根拠法令・例規等	備前市葬儀条例及び規則 日生町斎場及び葬祭事業に関する条例及び規則
	中項目 基本計画	09	環境を大切に将来につなぐまち	問 担当課(室)	環境課
	小項目 施策	39	斎場の運営と墓地の整備	合 職・氏名	衛生係長・青木克行
				電 話	64-1821
事務事業名	01	斎場維持管理事業	このシート作成に要した時間	1.5 時間	

事業の目的		
対 象 (誰・何に対して)	祭壇・霊柩車・斎場を利用するすべての市民(祭壇・霊柩車については備前地域のみ) 斎場を利用する市外の利用者	
目 的 (何のために)	適正な火葬及び祭壇業務の執行	
事業の意図する成果 (どのような状態にしたいのか)	葬儀を執行するにあたり、火葬炉施設の故障や職員の対応等により、利用者に不快感を与えない。	

事業の実績			
	細 事 業 名	事業の説明	優先度
目的を達成するために実施した事業	備前斎場維持管理事業	適正に火葬を執行するために備前斎場・霊柩車等の維持管理を行う。	◎
	日生斎場維持管理事業	適正に火葬を執行するために日生斎場・霊柩車等の維持管理を行う。	◎
	県トラック協会会費	県内の営業用自動車所有者で組織されている岡山県トラック協会の会費	△
	備前斎場	火葬執行件数：416件	
	日生斎場	火葬執行件数：106件	

事業費等		単位	平成25年度実績	平成26年度実績	平成27年度実績
決算額	事業費	千円	39,130	33,694	28,541
	必要人員	人	0.88人	0.94人	1.02人
	事業費	千円	44,956	39,970	35,535
	国 県 支 出 金				
	受 益 者 負 担 金				
財 源	千円				
市 債					
其 他 ()					
一 般 財 源		44,956	39,970	35,535	
受 益 者 負 担 比 率	%	-	-	-	

結果指標名		単位	平成25年度実績	平成26年度実績	平成27年度実績
結果指標	火葬執行件数	件	495	453	522
	対 前 年 比	%	-	91.5%	115.2%
	活 動 コ ス ト	円	44,923,000	39,937,000	35,205,000
	単 位 当 た り コ ス ト	円	90,754	88,161	67,443

事業の成果					
成果指標名	年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度目標値
斎場維持管理業務は、成果指標となる判断基準が無い。	目標値 (A)				
	実績値 (B)				到達目標値
	達成率 (B/A)	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	
成果指標設定の考え方・式や説明					

事務事業の評価		該当する項目を□から■へ < ■ ←「コピー」して「貼り付け」してください >	Check
妥当性の評価	市の関与の必要性	<input type="checkbox"/> 市が実施するよう法令で義務づけられている <input checked="" type="checkbox"/> 法令で義務づけられていないが、実施しなければ大半の市民の日常生活に支障をきたす <input type="checkbox"/> 現在市が実施しているが、実施しなくても市民の日常生活に支障をきたさない <input type="checkbox"/> 事業の内容が一部の受益者に偏っている <input type="checkbox"/> 対象者は限定的であるが社会的弱者等を対象としている <input checked="" type="checkbox"/> 現在の市を取り巻く環境からも目的・意図する成果は妥当である <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的から変化してきている <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的は、ほぼ達成されている <input checked="" type="checkbox"/> 厳しい財政状況であるが、実施する必要がある <input type="checkbox"/> 市民・団体等から要望・要請が強い	妥当性評価 A B C D E 高や普や低 いや通やい 高 低 い
	市民ニーズ	<input checked="" type="checkbox"/> 単位当たりコストは前年度と比較して改善している <input type="checkbox"/> 実施方法(派遣・委託含)を見直すことでコストを下げる余地がある <input type="checkbox"/> 事務の電子化や事務改善によりコストを下げる余地がある <input checked="" type="checkbox"/> コスト削減の努力はしているが、下がる余地は小さい <input type="checkbox"/> 受益者負担率は適正である <input type="checkbox"/> 受益者負担率を見直す余地がある <input checked="" type="checkbox"/> サービスを維持するためこれ以外、他に手段が見当たらない <input type="checkbox"/> 現在の手段は過剰なサービスのため、改善の余地がある <input type="checkbox"/> 最適な手段を求めて職場内で改善・研修に努めている	効率性評価 A B C D E 高や普や低 いや通やい 高 低 い
有効性の評価	目的達成度	<input type="checkbox"/> 成果指標の設定は適切である <input type="checkbox"/> 成果指標の到達目標値は達成できそうである <input type="checkbox"/> 成果指標達成率は前年度と比較して向上している <input type="checkbox"/> 成果指標達成率は80%未満となっている	有効性評価 A B C D E 高や普や低 いや通やい 高 低 い
	市民参画度	<input type="checkbox"/> 現在の事業を継続しても成果指標の向上は期待できない <input checked="" type="checkbox"/> 法定事務・内部管理事務 であり成果は求めにくい <input type="checkbox"/> 事業について積極的にHPや広報等で情報提供している <input type="checkbox"/> 事業にはNPO、ボランティア団体等が参画している	B

進行年度 (H28年度) の改革改善内容							
状況	拡充	現状継続	見直し	縮小	整理統合	休止	廃止・完了
説明	各火葬炉施設の適正な維持補修整備を行う。また、和気北部衛生施設組合で実施している吉永地域の動向に注視しながら、施設の統合を検討する。炉の大型化とガス化工事についても進める。						

総合評価		
施設の老朽化等により、施設の維持費は年々増加していくと思われる。現状では、コストの削減は難しい。祭壇・霊柩業務については廃止の方向で検討したが、議会で否決された。しかし、地域間で異なるサービスを実施していることもあり、内容を見直す必要がある。	総合評価	A B C D E 高や普や低 いや通やい 高 低 い

平成29年度の方向性・取組目標							
方向性	拡充	現状継続	見直し	縮小	整理統合	休止	廃止・完了
取組目標	各葬炉施設の補修整備を行う。和気北部衛生施設組合の動向を注視しながら施設の統合を検討する。祭壇・霊柩業務については内容を見直す。						

事業の意図する成果とつながる成果指標を設定

事業の目的、対象、内容を考えながら妥当性を評価

事業費や受益者負担比率、単位当たりコストに留意しながら効率性を評価

事業の目的、成果指標に留意しながら数値目標を設定

Plan

Do

Check

Action

